

吉原 ゆかり准教授（筑波大学人文社会系）

「マンガとシェイクスピア？」

日時：平成29年9月16日(土) 13:00～14:00 (受付12:30開始)

場所：川村学園 小講堂 (JR目白駅 徒歩2分・要申込、入場無料)

マンガでシェイクスピア——ありえない？ シェイクスピアは世界でいちばん偉い劇作家(1564-1616)らしいけれども、セリフ長すぎ、難しすぎ。＜ロミジュリ＞は知ってるけど、え、ロミオって、ジュリエットの前に好きだったひと、いたの？ かたやマンガ。日本発の文化コンテンツ、ブンガク性が高いっていわれるけど、でも基本、娯楽でしょ？

けっこうあるんです、マンガとシェイクスピアのマリアージュ。古いところで、「ロミジュリ」がロボットの悲恋になった、手塚治虫『ロビオとロビエット』。『黒執事』の死神グレルにいわせれば、自分とセバスチャンの「禁断の恋」はロミジュリ級。こんなさまざまな例をとりあげて、マンガでシェイクスピアする意味を考えます。

【吉原ゆかり 准教授 プロフィール】



専門分野は英文学、とくにシェイクスピア。マンガ、映画、小説、ファッションなどのポピュラー・カルチャーが、シェイクスピアをどう使いまわしているか——原作にかなり忠実なこともあるが、抱腹絶倒なパロディのことも、これのどこがシェイクスピアなの？なトンデモもあり——を中心に研究している。シェイクスピア没後400年を記念して開催され、世界各地から100点以上が出展された、グラフィック・シェイクスピア・コンペティションの企画運営を行った(<https://elsinoregraphicshakespeare.tumblr.com/>)。著書に「これ、シェイクスピア、マジで？」(『異文化理解とパフォーマンス』所収)、「どっちだってグローバル漫画/manga とシェイクスピア」(『女性マンガ研究』所収)など。

【お問い合わせ・申込】

川村英文学会事務局

国際英語学科 学生研究室 (我孫子キャンパス)

TEL/FAX : 04-7183-7212

(7月31日～8月4日のみ)

e-mail: kokusaieigo.kgwu@gmail.com

(7月31日～8月10日のみ)

原則申込はメールでお願い致します。

①名前②住所③連絡先を明記の上、上記のメールアドレスにお送り下さい。

先着順にて受付致します。



川村学園小講堂：東京都豊島区目白2-22-3

後援：豊島区